

衛生管理は手洗いから

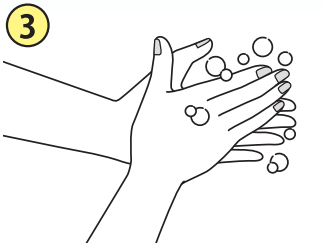
手洗いの手順



① 両手の手首のうえ5cm位まで流水で洗い流します。



② 石鹸液を適量手のひらに取ります。



③ 両手のひらをこすり合わせます。



④ 指の間も忘れずに手の甲をこすり洗います。



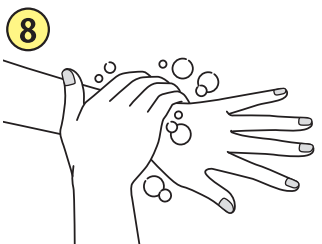
⑤ 手のひらの上で入念に指先を洗います。



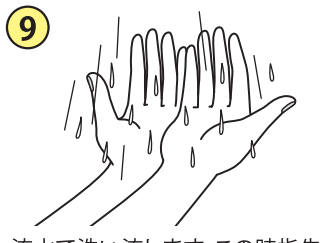
⑥ 指の間も忘れずに洗いましう。



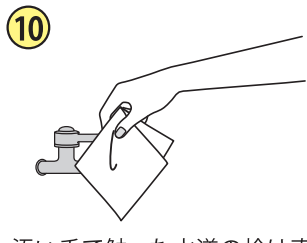
⑦ 親指を握るようにして洗います。



⑧ 手首の上くらいまで洗いましう。



⑨ 流水で洗い流します。この時指先を上に向けて洗う事も忘れずに。



⑩ 汚い手で触った水道の栓は直接手で触ってはいけません。ペーパータオルか肘を使いましう。

速乾性手指消毒剤による手順



① 手のひらに適量の消毒薬(約3ml)を取りまします。



② 両手の指先を最初に消毒まします。



③ 両手を合わせ手のひらに擦りこまします。



④ 手の甲にも消毒薬を擦りこまします。



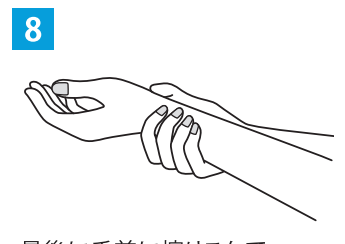
⑤ 指の間は、手を組み合わせて擦りこまします。



⑥ 爪は、反対の手のひらを使って擦りこまします。

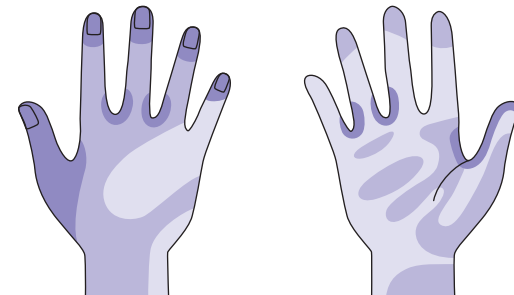


⑦ 親指は、掌で包み込みねじるようにして擦りこまします。



⑧ 最後に手首に擦りこんで終了です。

手洗いミスの生じやすい部位



- 普通に注意を要する箇所
- 比較的注意を要する箇所
- 最も注意を要する箇所

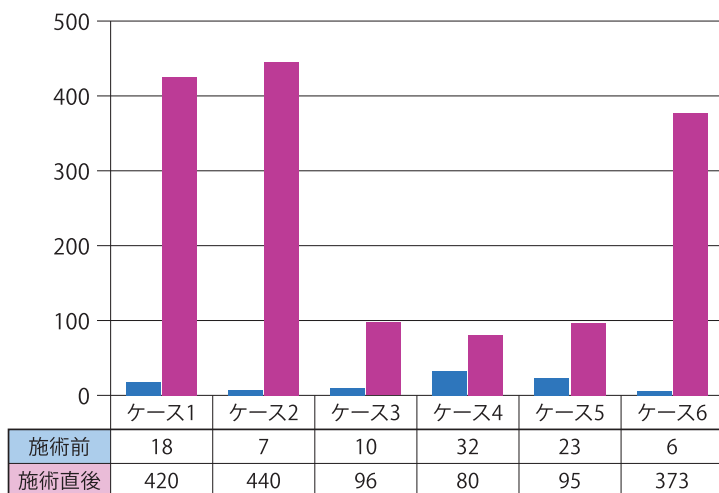
施術後は手を洗おう!

手は、様々なところを触り、さわった場所に存在する細菌類が手に移ります。人間の肌にはもともと表皮に存在する常在菌と直接接触や空中浮遊物がたくさん付着しており、素手で素肌に施術を行うエステティシャンは、お客様の皮膚から手指に細菌類が伝播します。

下記の写真のように施術直後の手にはたくさんの細菌類が付着しています。このまま他の場所を触ると手について細菌類が広がってしまいます。

施術直後は、他の場所を触る前に必ず手を洗うか手指消毒をしましょう。

H27年度 施術前後手指細菌数 (実務経験20年以上)



フェイシャルマッサージ施術前後の細菌数

被験者1 施術時



Cfu/
スタンプ培地

施術前	施術後
0	CSN \geq 400
	<i>Basillus</i> SP.50

施術直後から*S.aureus*が検出された。

被験者3 施術



Cfu/
スタンプ培地

施術前	施術後
0	CSN \geq 400
	<i>Basillus</i> SP. \geq 100